

総合学習指導案

指導者 丹野 悦子

1. 実施学年・児童数

第3学年・56名(2学級)

2. 単元名

大すき まきが原

～まきが原カルタでまちのよさを伝えよう～

3. 学習のねらい

○自分たちの暮らす身近な地域(まち)を探検し、よい景観をつくっている色々な要素に気づかせ、自分たちのまちに愛着をもつ。

○まち探検での取材を通して、自分で見つけた「まちのよさ」を発信すること、またその表現方法を学ぶ。

4. 主な学習活動

○社会科のまち探検の学習を振り返り、詳しく取材したい地域を決める。

○まちを取材する。

○取材したことを素にカルタ作りをする。



5. 実施場所

- ・学区(万騎が原・柏町・二俣川・さちが丘)
- ・教室





6. 準備するもの(参考資料含む)





・学区地図・学習カード・たんけんバック(バインダー)・デジタルカメラ・腕時計・見本となるようなカルタ

7. 学習計画

学習活動	教師の指導	評価
<p>1.「大すき まきが原」の学習でまちのよさをカルタで伝えることを知る。(1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動全体について知り、学習計画を立てる。 ・社会科で学習したまちたんけんを振り返り、もっと詳しく調べたい地域を決める。 	<p>○国語で学習したカルタのことを思い出させ、カルタ作りに意欲をもたせる。</p> <p>○ここで作っていくカルタの例を示す。</p> <p>○社会科で作った学区地図を掲示して、まちたんけんの振り返りの一助とする。</p> <p>○詳しく調べる地域に偏りのないよう配慮する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の計画を立て、見直しをもつことができたか。 ・自分が詳しく調べたい地域を決め、自分の思いの実現に向けて活動しようとする意欲がもてたか。 <p>【自分自身に関すること】</p>
<p>2.取材を通して、まちのよさを発見する。(3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい場所を見つける。 ・カメラに収める。 ・地図に印をつける。 ・伝えたいことを短い言葉でメモする。 	<p>○学区地図・デジタルカメラ等の準備をする。</p> <p>○どうしてここが好きなのか、もっと詳しく調べたいのかを考えながら取材するよう助言する。</p> <p>○注目したものだけでなく、紹介したい場所が分かるように写真に収めるよう助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達と協力して活動できたか。 ・取材場所や人に礼儀正しく行動し、感謝の気持ちをもつことができたか。 <p>【他者や社会とのかわりに関すると】</p>
<p>3.自分なりに表現を工夫してカルタをつくる。(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材した写真などを参考にして絵札を作る。 ・よさが伝わるよう考えて、読み札を作る。 	<p>○参考となるカルタを例示する。</p> <p>○「まちのよさ」が伝わる内容であるかどうかを吟味させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのよさが伝わるよう、わかりやすく表現することができたか。 <p>【学習方法に関すること】</p>

8. 活動の様子

時間数	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・活動全体について知らせる。 ・学習計画を立てさせ、活動の見通しをもたせる。 ・学習計画カードには、活動の振り返りが記入できるようにする。 ・社会科で学習したまちたんけんを振り返る。もっと詳しく調べたい地域を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の全容を知り、各自(各班)活動計画を立てた。 ・学区の地図上で、自分が取材したい地域を決めた。 ・カメラの台数が限られているので、取材方向別にグループを作った。  	<p>○各自熱心に説明を聞き、カルタ作りに意欲をもった。</p> <p>「おもしろそうだな」</p> <p>「早くやりたいな」</p>
3 時間	校外 (学区)	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい場所を見つけ、その場所を撮影しカメラに収める。 ・どうしてここが好きなのか、もっと詳しく調べたいのかを考えながら取材するよう助言する。 	<p>○学区地図・デジタルカメラ等の準備をする。</p> <p>○注目したものだけでなく、紹介したい場所が分かるように写真に収める。</p>  	<p>○視点を定めて学区を詳しく取材したため、関心をもって情報を収集したり、写真を撮ったりしていた。</p> <p>○生き生きと活動できた。</p>

2 時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> • 伝えたいことを短い言葉でメモしておくように助言する。 • 取材した写真などを参考にし て絵札を作る。 • よさが伝わるよう考えて、読み札を作る。 	   	○自分の見つけたよさを自分なりに工夫して絵札・読み札を作りを楽しんだ。
------	----	--	--	-------------------------------------

総合学習指導案

指導者 梅津 仁

1. 実施学年・児童数

第4学年1組 ・ 33名

2. 単元名

天までとどけ緑の世界（学級）→ キラリ・チャレンジ・4年生（学年）

3. 学習のねらい

- 自分たちの暮らす身近な地域(まち)のよい景観をつくっている色々な要素に気づかせ、まちや学校でよりよい景観をつくるために自分たちに何ができるか考える。
- グリーンカーテンについて興味や疑問を持ち、課題を見つけ解決への見通しをもって計画を立てる。
- 自分たちが考えていることを進めていく上で、他学年の児童や教職員など関係する様々な人に取材をしたり、活動の許可を取ったりする経験を重ねることを通して、景観一つを変えるにも、多くの準備や必要なことを学ぶ。
- 活動を通して、自分と違う考えや意見があることを認めたり仲間と力を合わせて活動に取り組んだりする。
- 地域で農業を営んでいる人と関わり、プロの工夫や思いを知るとともに、自分たちが育てている植物との育ちの違いに気づき、自分たちの活動をさらに良いものにするために見直す。
- 学習を通して気づいたり感じたりしたことなどを、相手に伝わるように分かりやすくまとめ表現する。

4. 主な学習活動

- グリーンカーテンをつくるための計画を立て関係する人と調整する。
- ヘチマやゴウヤ、ヒョウタンが大きく育つためには何が必要かを考えて仲間と協力して取り組んだり、地域の農家から学んだりする。
- 学習したことを他学年や家族に伝えるために、ミュージカルを創る。。

5. 実施場所

- ・校舎の南側に設置したグリーンカーテン（ツル植物を育てる場所）
- ・地域の農家（取材する場所）
- ・体育館（ミュージカルを発表する場所）

6. 準備するもの(参考資料含む)

- ・植物の種や苗・グリーンカーテン用ネット・土・肥料・学習カード
- ・デジタルカメラ・デジタルビデオ

4年1組 「総合的な学習の時間」の構想

学習材（人・もの・こと）

人	相原さん	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年田んぼでお世話になっている稲作指導員（万騎小&南本宿小の稲作の「もみまき」は相原さんの畑） ・市のマイスター、相原さんの野菜は給食にも使われている。 ・お宅（畑）まで学校から徒歩約15分 ・低学年の生活科でも関わっている。 ・校長室の巨大なヒョウタン(約1m)は、相原さんの畑でとれたもの。 ・毎年、畑でツル性植物（キュウリ、カボチャ、ヒョウタンなど）を栽培している。
	技術員さん	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンを作るために、ネットを校舎一階面にはったり、ロープを教室3階から垂らしてくれたりして高所作業をしてくださった。
	校長先生 副校長先生 理科の先生 はまこの先生	<ul style="list-style-type: none"> ・校長先生や副校長先生は、活動する上で様々な説明をしたり、許可を受けたりする重要な役割。時として児童にゆさぶりをかけてくださり、そこから課題が生まれることもある。 ・児童にとって身近で信頼できる存在。
	どろんクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども自然公園」内の同じ場所で田んぼを行っている。田んぼの生きものや公園内の水辺の生きものについても詳しく、児童が生きものを捕獲し観察するとき、協力者として大いに期待。
	地域の人	<ul style="list-style-type: none"> ・本校が受けている「まちの〇〇〇〇〇〇」の関係で何れ数件の町の方と関わることになる。

もの	グリーンカーテン	ツルレイシ
		ヘチマ
		ヒョウタン
	肥料	4年2組の総合との関わり
	魚	大池（コイ、フナ属、モツゴ、メダカ、ヨシノボリ、タイリクバラタナゴ） 教育水田および水路（モツゴ、ドジョウ、メダカ、ヨシノボリ）
水生動物	大池（手長エビ、スジエビ、アメリカザリガニ、ウシガエル、ミシシippアカミミガメ、アオダイショウ） 教育水田および水路（イトミミズ、カウニナ、スジエビ、アメリカザリガニ、オニヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ヤマトクロスジヘビトンボ、アマガエル、ウシガエル、カナヘビ）	

こと	代かき、田植え	
	子ども自然公園での水辺の生きもの捕獲→教室での生態観察	
	4の2収穫祭	ツルレイシ → 食
		ヘチマ・ヒョウタン → 処理 → 教室（改造計画）
	（ホームカミングデー [11月初旬]	グリーンカーテンの効用
来年度は創立50周年		

天までとどけ！みどりの世界Ⅰ(学級)15H

5月

通学路で見る家々は、花壇や樹木など緑が多く、それぞれ工夫した素敵な庭が多いね。

学校を緑のカーテンで！

生きものをそだてたい！

理科

ゴーヤ
ヒョウタン
ヘチマ

調べ学習

計画

許可を得るための説明

校長

副校長

各特別教室管理の先生

6月

相原さんのヒョウタン
大→特大→超特大

畑を見学
相原さんの

毎日のように土の様子をみて、水やりをしている。

ツルの伸び方など全てが学校より大きく成長している。

大きく育てるためには、夏休み期間もしっかり水やりをしないと・・・当番をつくって、みんなの力で育てよう！

7月

許可を得るための説明

校長

副校長

ヘチマやゴウヤが大きくなってきたぞ！

8月

創ろう！最高のスタンプ(学級)5H

ホッ！

(道志村宿泊体験学習キャンプファイヤーでのクラスの出しもの)

体験学習のスローガンをボディパーカッションで表現しよう！(グループ活動)

9月

天までとどけ！みどりの世界Ⅱ(学級)15H

ステップ

10月

(11月初旬の土曜参観日は、体育館で「横浜の時間」の発表会)
学級総合でやってきたことを「劇」や「うた」や「ボディパーカッション」を使って全校の皆やお家の人に表現しよう。(グループ活動)

11月

12月

キラリ・チャレンジ・4年生(パーマーのミュージカルなど)(学年)15H

ジャン！

1月

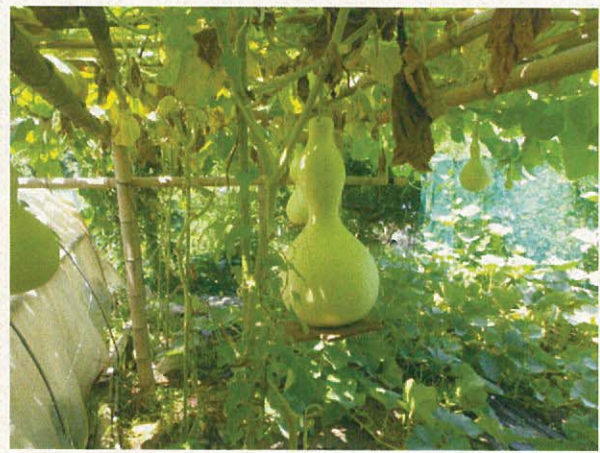
「～成長と感謝を表す会～ キラリ・チャレンジ・4年生」を創ろう！

2月

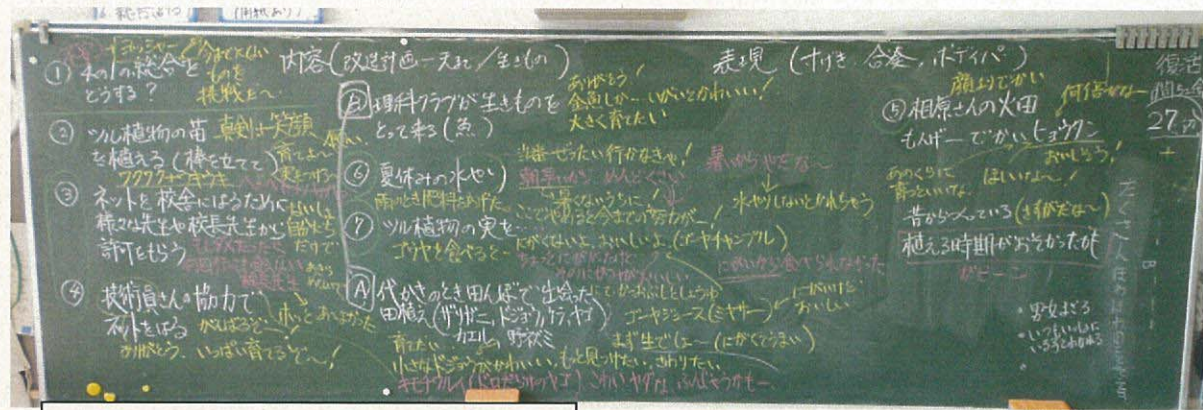
ぼくたち・わたしたちの成長が伝わる表し方って何だろう。

1組も2組も同じように分かっている、お家の人に伝える価値があるものある内容って何だろう。

四月から歌を学級・学年経営の柱の一つとして取り組んできた。歌うことが好きな子どもを育て、朝や帰りの会など日常的に歌ってきた。授業参観日には、毎回授業が終わった後、学年合同で合唱曲を保護者に披露してきた。



7月 野菜作りの達人に超特大のヒョウタンを育てる秘密を調査（相原さんの畑）



10月 天までとどけ！みどりの世界をミュージカルで表現しよう（教室）



10月 とれたとど〜でっかいへちま！（プール）



2月 キラリ・チャレンジ・4年生「パーマーのミュージカル」（音楽室）（体育館）